

活動報告



JEMEA Web 機関誌/論文誌を J-STAGE に公開

On Publications of JEMEA Web Bulletin and Journal in J-STAGE

(株) 豊田中央研究所 福島 英沖
〒4801192 愛知県長久手市横道 41-1
e-mail: h-fukushima@mosk.tytlabs.co.jp

1. はじめに

JEMEA (日本電磁波エネルギー応用学会) 機関誌が 2015 年 12 月に JEMEA ホームページ上で発刊されてから 4 年が経過し、さらに査読付き論文誌が 2017 年 6 月に発行された。機関誌・論文誌ワーキンググループ (WG) の活動の一環として編集作業を重ね、2018 年 2 月に論文誌・機関誌委員会を立ち上げ、機関誌は年 2 回、論文誌は年 1~2 回を目標に発行し、現在まで機関誌は収録数 81 本、論文誌は 15 本が掲載された。さらに、(株)科学技術研究所の協力のもと、J-STAGE に登録申請を行い、2019 年 7 月に JEMEA Web 機関誌¹⁾が、同年 12 月に JEMEA Web 論文誌²⁾が J-STAGE に公開された。また、JEMEA が法人登記されてから 13 年が経過し、学会主催のシンポジウム、研究会、各種イベントが膨大な数となり、機関誌/論文誌の編集を含めて、過去の記事を閲覧しやすくするために、2019 年 2 月に JEMEA ホームページを刷新した³⁾。

2. J-STAGE 公開の意義

現在、JEMEA-HP、J-STAGE とともに、最新号 (1 年間) のみ閲覧には会員限定のパスワード認証が必要であるが、機関誌、論文誌ともにアーカイブ的に過去の記事、論文を広く一般の人にも閲覧できるようになっている。とくに、J-STAGE では月ごとに月間アクセス数ランキングが表示され、閲覧者がどのような技術分野、記事に興味を持っているのかが把握でき、今後のマイクロ波加熱、電磁波応用の研究課題を探索するうえで大いに参考となる。J-STAGE に機関誌/論文誌が公開された結果、アメリカ合衆国からは日本と同等のアクセス数があり、大韓民国、中国、イギリス、ドイツなど世界中から数多くの閲覧があり、現状の JEMEA-HP に比べて 2 桁近く閲覧者が増えているようである。

3. 終わりに

機関誌・論文誌がJ-STAGEに掲載されたことにより、JEMEAの活動が領域を超えて日本のみならず、世界各国の研究者にも認知されるようになってきた。他の歴史ある学会と同様に、JEMEAの社会的信用度や学術的価値をより高めるためには、日本学術会議（協力学術研究団体）⁴⁾への新規加入が必要となる。査読付き論文が発行されてから2年以上が経過し、現時点で学会としての加入条件はクリアーしている。詳細についてはJEMEA機関誌に掲載した文献⁵⁾を参照してほしい。現状、JEMEA事務局（佐藤氏）の協力のもと、産学共同の編集委員で活動を開始してから2年が経過した。今後は若手にバトンタッチし、新たなメンバーで機関誌・論文誌を継続、進展させ、JEMEAのさらなる発展に寄与してほしい。

参考文献

- 1) JEMEA 機関誌 (J-STAGE) <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jemeabulletin/-char/ja>
- 2) JEMEA 論文誌 (J-STAGE) <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jemeajournal/-char/ja>
- 3) JEMEA ホームページ <https://www.jemea.org/>
- 4) 日本学術会議協力学術研究団体：<http://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/index.htm>
- 5) 福島英沖：JEMEA 論文誌発行について、JEMEA Bulletin Vol.4 No.1 (2018.6)